

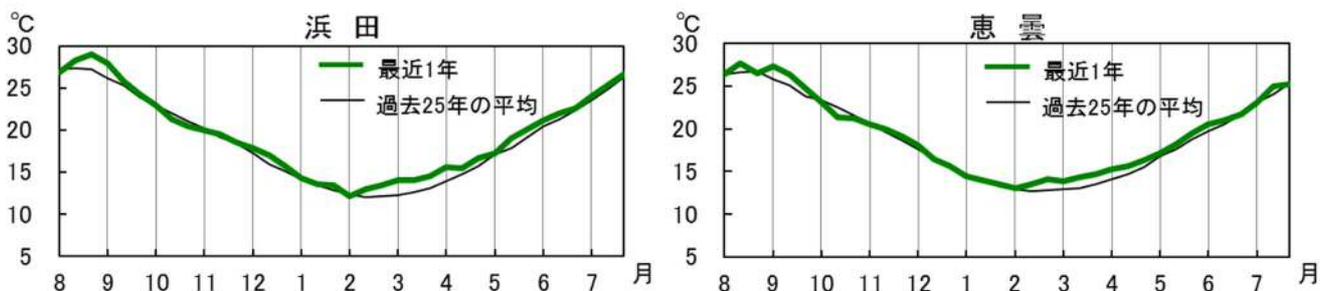


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《7月の海況》



7月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	25.4℃	+0.4℃	平年並み	24.4℃	+0.2℃
中旬	平年並み			やや高め		
下旬	平年並み			平年並み		



《7月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の9割、サバ類は平年の5割でした。隠岐地区ではマイワシ、ウルメイワシ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は43.7トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは3,494トンで平年の1.8倍、ウルメイワシは2,489トンで平年の3.5倍、マアジは682トンで平年の7割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の89%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は133.5kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は102.1kgで平年並みでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は35.3トンと平年の1.3倍、1統1航海当たりの漁獲量は1.3トンで平年の1.4倍でした。エッチュウバイの漁獲量は31.7トンで平年の1.4倍、銘柄別では「中」、「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の8割を占め、特に「大」は10.8トンと平年の1.5倍でした。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は960kgと平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは34.5トンで平年の5割となり、ヒラマサは2.0トンで平年の2割でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は16.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.1倍、マアジは平年の6割でした。石見地区ではマアジ、ケンサキイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は12.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の4割、ケンサキイカは平年の7割でした。隠岐地区ではブリ、ケンサキイカ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は14.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.3倍、ケンサキイカは平年の1.4倍、イサキは平年の1.2倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、マアジ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.9kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の5割、マアジは平年の1.4倍でした。石見地区ではケンサキイカ、アマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.8kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年並み、アマダイは平年の7割でした。隠岐地区ではケンサキイカ、スルメイカ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.0kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割、スルメイカは平年の1.5倍、カサゴ・メバル類は平年の9割でした。

【令和3年7月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、ウルメイワシ、マアジ	6,986 トン	155%	166%	43.7 トン	141%	144%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	6.1 トン	95%	39%	133.5kg	138%	108%	○
	西郷	スルメイカ	10.1 トン	53%	44%	102.1kg	71%	80%	○
ばいかご	石見	エッチュウバイ	35.3 トン	120%	125%	1.3 トン	129%	143%	◎
しいら漬け	石見	シイラ、ヒラマサ	37 トン	58%	46%	960kg	57%	55%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、マアジ	236 トン	82%	68%	16.8 トン	82%	64%	▲
	石見	マアジ、ケンサキイカ	49 トン	73%	67%	12.3 トン	73%	67%	▲
	隠岐	ブリ、ケンサキイカ、イサキ	43 トン	84%	75%	14.2 トン	84%	75%	▲
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、マアジ	36.7 トン	102%	71%	20.9kg	102%	90%	▲
	石見	ケンサキイカ、アマダイ	43.9 トン	108%	87%	19.8kg	104%	106%	○
	隠岐	ケンサキイカ、スルメイカ、カサゴ・メバル類	19.9 トン	75%	86%	20.0kg	99%	107%	○

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ